

平成26年度全国学力・学習状況調査分析結果及び今後の取り組みについて

この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、指導の充実や学習状況の改善に役立てるために行われているものです。白山中学校では下記のように分析し、教育の充実に取り組んでまいります。

1. 白山中学校の結果について

調査の結果、白山中の特徴として次の点が読み取れました。

- 国語の漢字は、読み取り問題に比べ書き取り問題の正答率が70%程度となる。
- 数学の四則演算の計算問題では、
 - ・分数の割り算で逆数にしてかけていない生徒が5%程度いる。
 - ・指数の意味がわからず計算している生徒が10%程度いる。
- 約90%の生徒は毎日同じ時刻に起床するが、約30%の生徒は同じ時刻に就寝していない。
- 自分には良いところがあると自己肯定感を持っている生徒が70%程度いる。
- 物事を最後までやり遂げて嬉しかったことがある生徒が95%程度いる。
- 将来の夢や目標を持っている生徒が75%程度いる。
- ゲームや携帯(スマホ・パソコン)でのメールやインターネットを1日、
 - ・1時間以上する生徒は、50%程度である。
 - ・2時間以上する生徒は、30%程度である。
 - ・3時間以上する生徒は、20%程度である。
 - ・4時間以上する生徒は、10%程度である。
- 家で学校の授業の復習をする生徒は、40%程度である。
- 学校に行くのが楽しい、学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったと思っている生徒は85%程度である。
- 国語が好きと答えた生徒は80%程度、数学が好きと答えた生徒が55%程度である。

2. 白山中学校の取り組みについて

白山中学校では、前述の結果の課題となる点に焦点をあて、「授業の充実」や生徒の自主的な学習を指導しながら、家庭と協力して「家庭学習の充実」を図っていきたいと考えています。そのために、一昨年度から取り組んでいるユニバーサルデザインの視点を一層充実させてどの子にもわかる、できる授業づくりのため、

- ①毎時の授業のめあて(課題や目標)を明示する。
- ②板書の仕方を工夫(色遣い等)する。
- ③少人数での話し合や発表機会を増やし、授業での活躍の場を増やす。
- ④ICT機器を活用し、文字に絵や図、写真又は具体物を添え理解の補助をする。
- ⑤課題に取り組む時間を十分に確保する。
- ⑥評価カード(振り返りカード)等を使い学習した内容振り返らせる。

等の点を踏まえ取り組んでいきたいと思っております。